

➡ 令和7年度「探究的な学びを中核とした「学びの変革」カリキュラム研究開発事業」

# 熊野町立熊野中学校区 研究経過報告



熊野町立熊野中学校 武内友理佳



## 組曲「筆の都 くまの」

「地域文化の伝承と創造」をテーマにして、毎年、「組曲・筆の都くまの」の創作に取り組んでいる。これは、町内に現存する「筆まつり唄」や「筆踊り」を発展させ、和太鼓、篠笛等の和楽器を取り入れて創作したもので、約30分間、生徒が演じる。

# 熊野中学校の伝統について



踊り

書道

篠笛

吹奏楽

太鼓

組曲「筆の都 くまの」

生徒たちにとって、22年続く「自分たちが受け継ぐべき伝統」であり、  
下級生にとって「先輩みたいになりたい」というあこがれの象徴



## R6年度(昨年度)の課題



学校行事として22年続いてきた組曲「筆の都 くまの」は芸術活動の側面が強く、探究的な学びには至っていない



組曲をいかに探究していくか

## 伝統的な学校行事の変革に挑戦



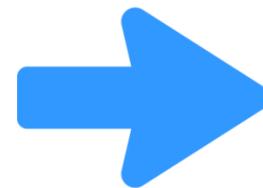
伝統的な学校行事に取り組むことを「あたりまえ」にしない（形骸化を防ぐ）



## これまでの組曲

①全校生徒で取り組む

②教員主導で行う



③活動・体験重視

## R6年度(昨年度)

①2・3年で取り組む

※1年生は小学校の探究をいかして  
単独でふるさと学習に取り組む

②リーダー、小グループを  
中心とした活動形態

③相互フィードバックシート導入

④篠笛パートに広報活動を盛り込む



## R6年度6月 中1(現中2)生徒の実態



次の表は、本校で年3回(6月、9月、1月)行われる生徒質問紙において、本校で育成する資質・能力および総合的な学習の時間に関わる項目について本学年の生徒の回答を抜粋したものである。

【令和6年度6月実施 99人回答】

質問項目 (括弧内は、本校で育成する資質・能力)	肯定的回答(人)		否定的回答(人)		肯定的回答 (%)
	よく当て はまる	やや当て はまる	あまり当て はまらない	全く当て はまらない	
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	6	32	36	25	38.4

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。  
⇒ 肯定的評価の割合が38.4% (令和6年6月1年生99人)



## R7年度6月中1（現中2）生徒の実態



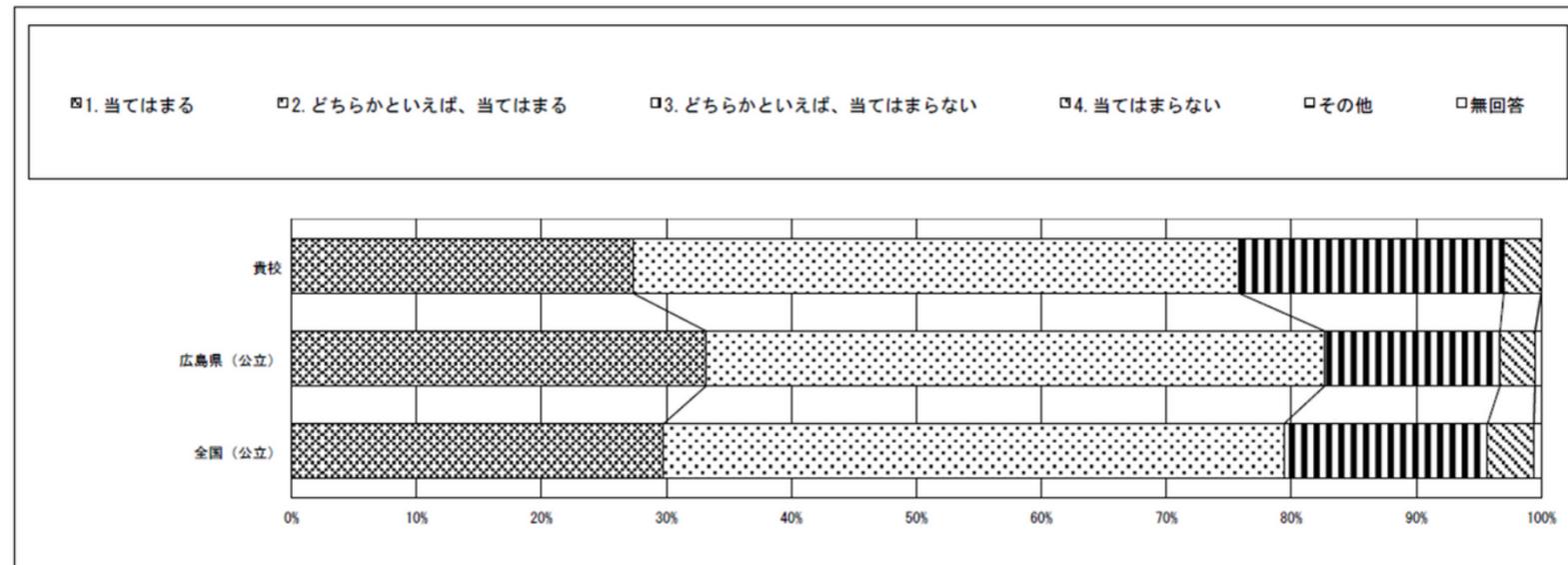
質問項目	肯定的回答(人)		否定的回答(人)		肯定的回答 (%)
	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	22	49	6	1	91.0%

昨年度  
+52.6

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。  
⇒ 肯定的評価の割合が91.0%（令和7年6月2年生78人）

## R7年度6月全国学力学習状況調査の質問紙 現中3生徒の実態

質問番号	質問事項											
(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	27.3	48.5	21.2	3.0							0.0	0.0
広島県(公立)	33.2	49.5	14.0	2.8							0.0	0.5
全国(公立)	29.8	49.7	16.3	3.7							0.0	0.6



**全国平均 - 6.9**  
**県平均 - 3.7**

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。  
 ⇒ 肯定的評価の割合が75.8% (令和7年6月3年生66人)

# 問いの出発点



「組曲」を受け継ぐべきなのか



教科と総合の連携  
(教科横断的な視点)



国語



話す・聞く(話)の  
リンクマップによる話し合い  
話し合いで問題を検討しよう

受け継ぎたい



昨年度末

組曲実行委員会 発足



中1生徒にそれぞれの  
パートの魅力をプレゼン





2 3代にふさわしい字は？



踊りの動きには  
どんな意味がある？



2 3代の表現とは？



広報活動の効果とは？



この音の意味は？



篠笛のよさとは？



- まとめ
- 日本音階の部分は、柔らかく透明感のある音で吹くようにする。
  - 表現の旋律やリズムの部分は、作業者としてのテンションや集中力を高め、体でリズムを感じながら演奏する。
  - 曲全体を通して、地域の文化や生活の雰囲気を感じていく。
  - 吹奏家が「太鼓や踊りを支えるとき」「楽譜を引立てるとき」など、想像を整理して理解する。
- ただ音を出すだけではなく、曲の背景や地域の特色を盛り込んで演奏することで、より素敵な音楽になっていく

篠笛ではなく  
リコーダーでもいいのでは？



## 今年度

### 「想い」を再定義しよう

組曲の表現を構成する意味や背景を探究し、それぞれのパートに込める「今の自分たちの想い」を再定義する

1

2

3

### 自分たちの代を再構成しよう

パート間でコラボしながら、総合芸術としての組曲を再構成・再演出する  
※表現活動を通して、自分たちの熊野や未来への願いを発信する

### 文化祭本番に向けて

課題や修正点を踏まえてブラッシュアップする

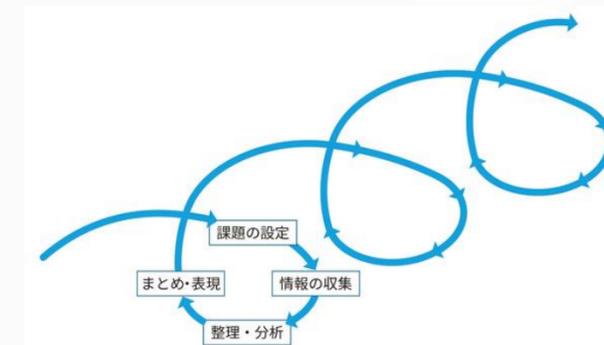
### 文化祭

本番

振

本日

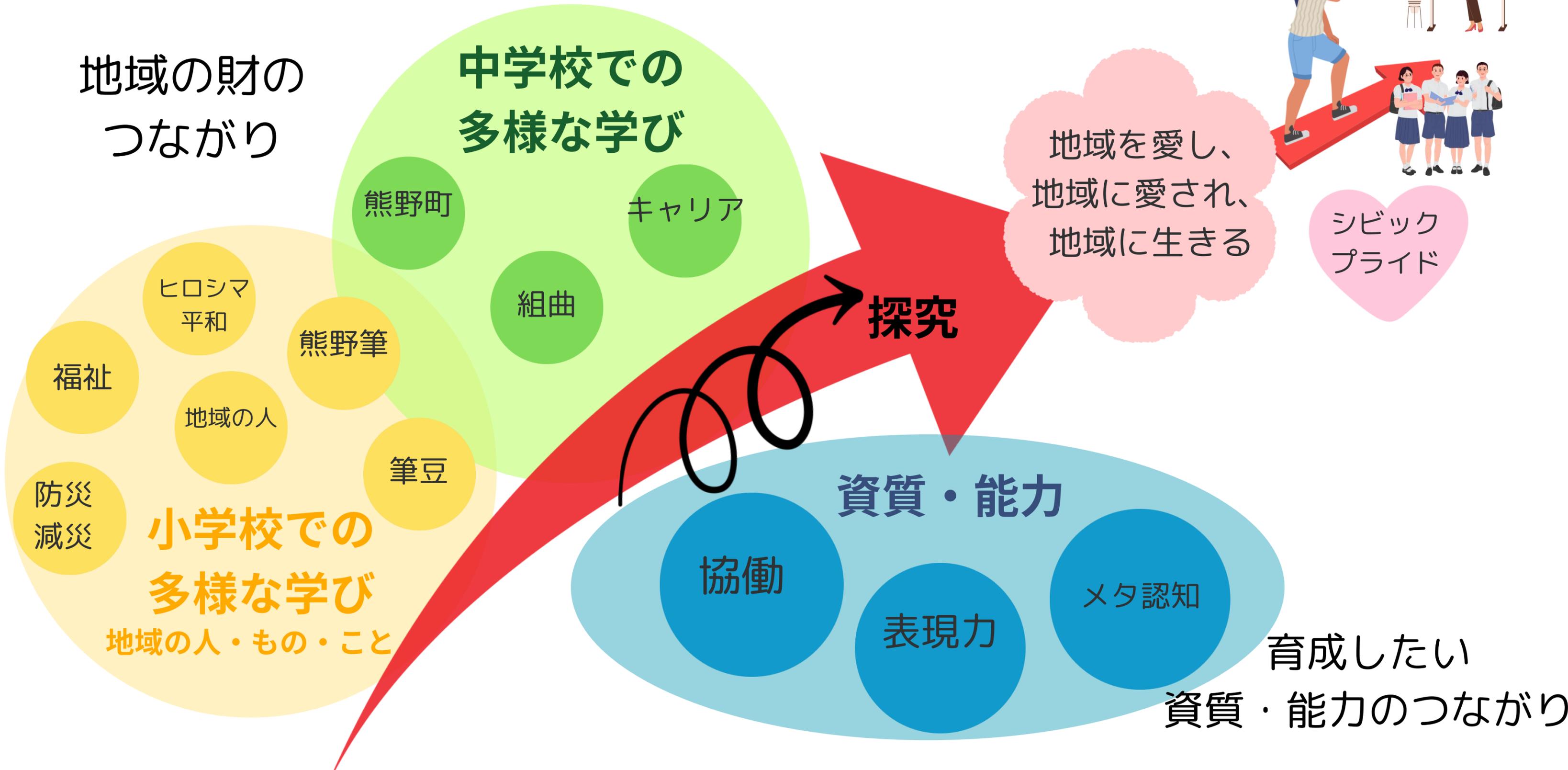
※24代に向けて



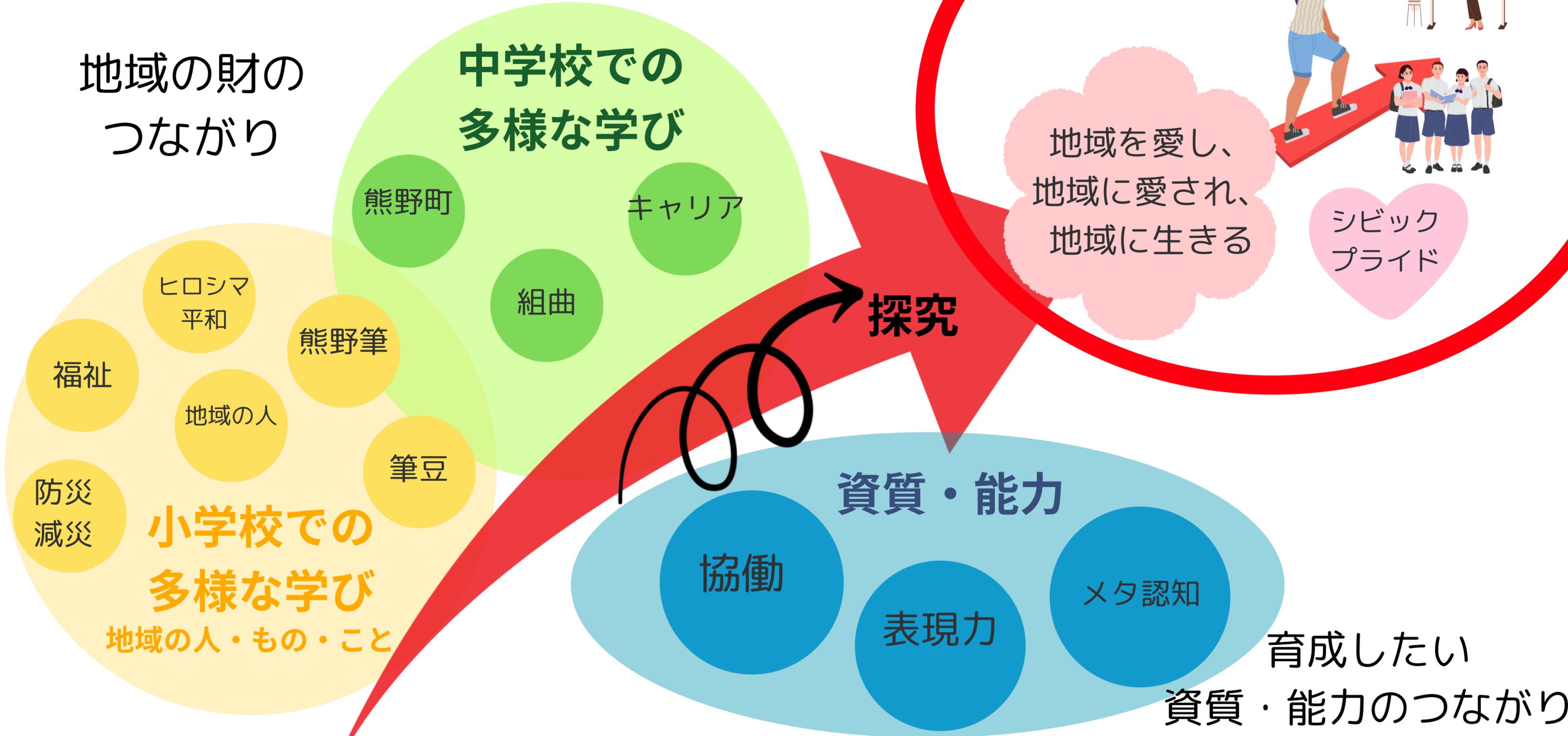
01

研究の概要

# 01 研究の概要 イメージ図



# 01 研究の概要 イメージ図



# 01 研究の概要

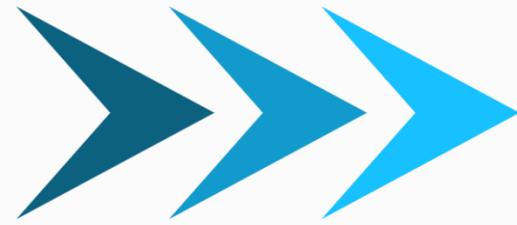
## (1) 本事業で熊野中学校区が目指す姿

「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という当事者意識に基づく自負心

①地域学習を持続可能なカリキュラムとして構築

②「地域を愛し 地域に愛され 地域に生きる生徒の育成」実現

③児童生徒にシビックプライド(都市に対する市民の誇り)が醸成されている



「ふるさと熊野」に誇りと愛情をもち、熊野で学んでよかったと思える教育  
…「ふるさと教育」を基盤とした学び続ける力の育成

# 01 研究の概要

## これまでの研究の変遷

- R3** 小中学校で系統性をもたせた  
よりよい自分を創造するための地域を題材とした単元の開発
- R4** 地域を題材とした単元における表現力の育成  
～ルーズブリックの活用を通して～
- R5** 小中学校のつながりをもたせた表現力の育成  
～開発した単元とルーズブリックの見つめ直しを通して～
- R6** **地域を愛し 地域に愛され 地域に生きる生徒の育成**  
～小中のつながりをもたせたシビックプライドの醸成～

小中で「防災減災学習」  
というテーマを合わせた  
探究に取り組んだ

繰り返し学習に  
なっている

# 01 研究の概要

(2) 特色 探究×○○

探究×**ふるさと学習**

(3) 研究テーマ

地域を愛し 地域に愛され 地域に生きる児童生徒の育成  
～小中のつながりをもたせたシビックプライドの醸成～

# 01 研究の概要 イメージ図



地域の財の  
つながり

中学校での  
多様な学び

地域を愛し、  
地域に愛され、  
地域に生きる

シビック  
プライド

探究

資質・能力

協働

表現力

メタ認知

育成したい  
資質・能力のつながり

小学校での  
多様な学び

地域の人・もの・こと

熊野町

キャリア

組曲

ヒロシマ  
平和

熊野筆

筆豆

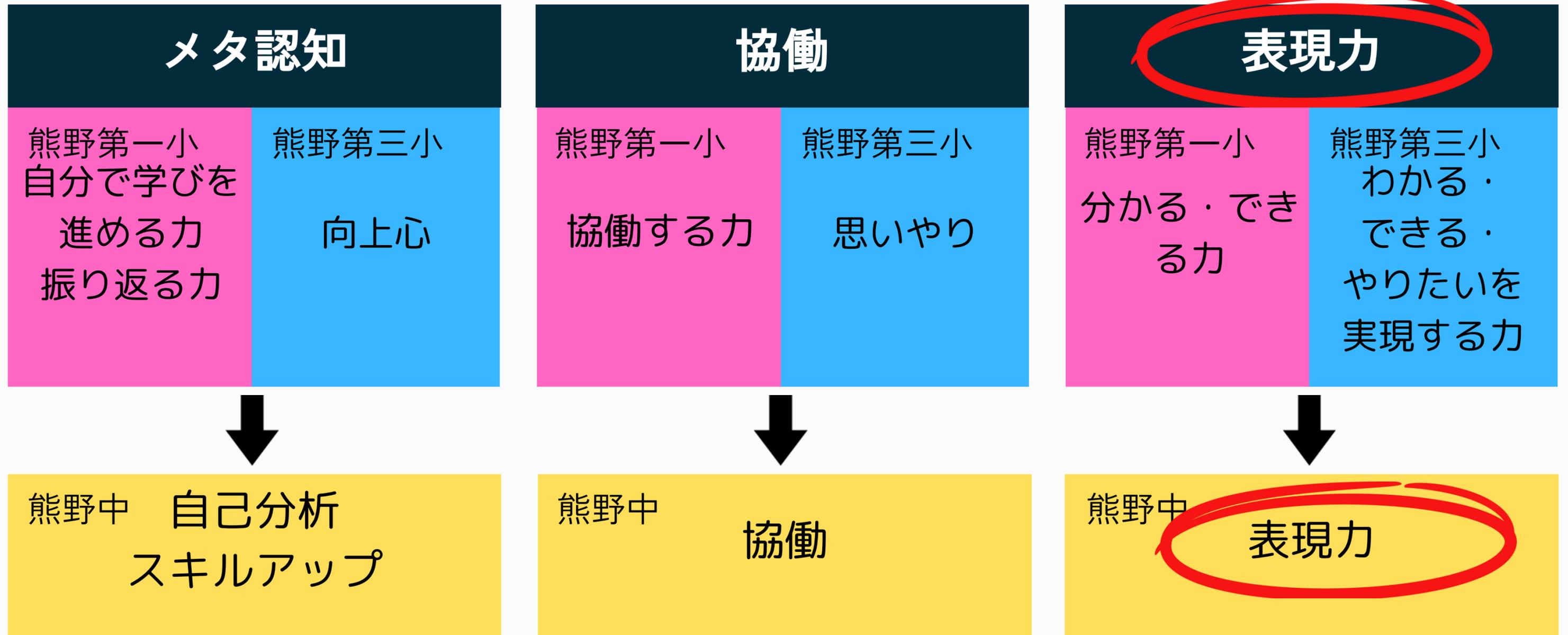
福祉

地域の人

防災  
減災

# 01 研究の概要

## (4) 中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力



# 01 研究の概要 イメージ図



地域の財の  
つながり

中学校での  
多様な学び

地域を愛し、  
地域に愛され、  
地域に生きる

シビック  
プライド

熊野町

キャリア

ヒロシマ  
平和

組曲

熊野筆

福祉

地域の人

筆豆

防災  
減災

小学校での  
多様な学び

地域の財・もの・こと

探究

資質・能力

協働

メタ認知

表現力

育成したい

資質・能力のつながり

# 01 研究の概要

(5)PBLの考え方を取り入れた  
総合的な学習の時間の単元開発



「小学校での学びをベースに  
地域とのつながりを重視した探究的な学習の充実」

縦のつながり（小・中9年間の系統）を整理し、それを意識して単元開発を行う

# 01 研究の概要-熊野第一小学校の実践

2 幸せな町づくりのためにできること

3 これからの生き方について考える



## 第4学年 ともに生きる ~みんなが住みやすい町をめざして~

★本質的な問い「幸せってなんだろう？」

1 熊野町は幸せな町？

導入：熊野町の幸福度ランキングを知る。

★単元を貫く問い

「熊野町は本当に幸せな町なのだろうか？」



情報の収集

★個別の問い

「熊野町にはどんな人が住んでいるかな？」



妊婦体験



聴覚・視覚障害体験



★協働的な学び・ICTの活用

新聞作り

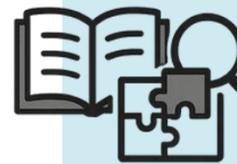
★ふりかえり まとめ・表現

「自分たちに  
できることは？」



学んだことを地域の方に伝えたい。

③



整理・分析



「働く人、町の支えがあって幸せ！」

# 01 研究の概要-熊野第三小学校の実践

3 防災の大切さを発信しよう



## 第4学年 熊野町の安心安全 知り隊・見つけ隊

2 災害について調べよう

1 町について調べよう

導入：熊野町の幸福度ランキングを知る。

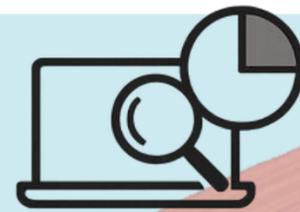


課題の設定

熊野町の安心・安全に  
つながるものを調べよう！

**本当に**

安心・安全な町？



情報の収集



## フィールドワーク

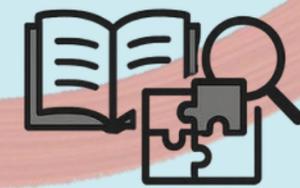
安心・安全に  
つながるものって  
たくさんあるんだな。



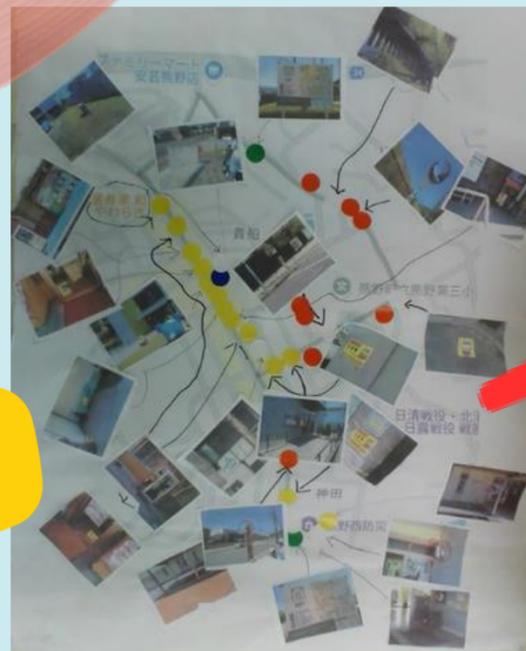
まとめ・表現



紙しばいや  
クイズにすると  
分かりやすいかな。



整理・分析



確かめ  
に行こう！

安心・安全に  
学校に来てほしいから  
1年生に伝えたいな。



# 01 研究の概要

## (6) 探究的な学びを中核にしたカリキュラム開発



# 「探究のよさを生徒に実感させる」

総合的な学習の時間でも探究！

各教科でも探究！～各教科でも探究の要素を取り入れていく～

02

事例



# 02 事例①生徒の姿 中1



## 熊野をつなげ隊

2 企画を実行し、地域にはたらきかけよう



西光寺でプレイベント開催

お年寄りの方を健康にし  
隊！

穂土、山下、藤井



体操を考案して実践



子ども議会



遊ぶ場所をきれいにする



自分たちでアポイントメントを取る



伝統工芸士の方にインタビュー



## 踊りパート

### 1 想いを再定義しよう



課題の設定

「組曲」の踊りって  
何を伝えようとしているの？

後世に残すには  
どうしたらいい？



情報の収集



タブレット

図書室



教科と総合の連携  
(教科横断的な視点)

熊野町に伝わる踊りや歌があるみたい



音楽

地域の人



まとめ・表現

自分たちで意味を考えよう

踊り意味 神楽：かつぐ  
米俵を担いでいると考えました。



整理・分析

熊野＝筆  
でも踊りができた頃は  
農業をやっていた

熊野町の「神楽踊り」と  
組曲の音が似てる！



# 02 事例①生徒の姿 中2・中3



## 踊りパート

2 23代目を創ろう

プレ発表に向けて



3 地域の方に発表しよう



文化祭に向けて

〜梶矢さんに教えて頂いた話〜  
十八世紀末ごろ、平地の少ない熊野村では、農業だけでは生活が苦しく、奈良地方から筆や墨を仕入れて出稼ぎや行商をして生計を立てていました。これがきっかけで筆と熊野の結びつきが生まれました。(毛利元就の時代に宮島の社領が5000石ほどあり、そのうちの545石が熊野の村でした。これが宮島と熊野のつながりです。)

今回、私たち踊りパートは、熊野中学校で行っている踊りを中心に探究しましたが、解決することができませんでした。そこで私達が受け継いだ踊りの意味を自分たちで考えました。その組曲をより知ってほしいと思います。

梶矢村さんについて  
梶矢さんは、熊野史研究会の方です。熊野神社の宮司である梶矢さんにご紹介いただきました。熊野のことについてよく知っている書き字引のような方です。私たちは梶矢さんから、熊野や熊野のことについて、たくさん教えていただきました。そして、今年の組曲をより良いものにするため、工夫してきました。



地づき唄	神楽踊り	衣装
<p>地づき唄の手を横に広げる動きが豊作を守るかかしを表現していると考えました。</p> <p>この動作が稲を刈る動きに似ていたので、稲を刈っている動きだと思いました。</p> <p>3回拍手する動きは米の豊作を願っていると考えました。</p>	<p>担ぐ動きは米俵を担いでいると考えました。</p> <p>神楽踊りの腕を伸ばした流れるような手の動きは、田んぼで水が流れている様子を表していると考えました。</p> <p>神楽踊りの腕を上押し上げるような動きは米が育っている様子を表していると考えました。</p>	<p>踊りの衣装は白を基調としています。後ろの帯はいろいろな色があっても魅力的で動くときにヒツキするところもとても可愛いです。</p> <p>踊りの構成 組曲は2楽章構成 第2楽章：神楽踊り 第3楽章：地づき唄</p> <p>※神楽踊りについて ①昔、熊野と関係の深かった宮島で、毛利元就が暗殺に勝利した熊島の合戦の翌年より踊り継がれ、熊野神社で踊られていた盆踊り ②「農民の至宝ともいうべき牛が多く死に、また田畑を荒らす虫害が激しかったため撲滅の祈願祭を行い、その祈願はどきとして神楽踊りを奉納した」とされている。</p>

# 02 事例①補足 日常の中でも探究の芽

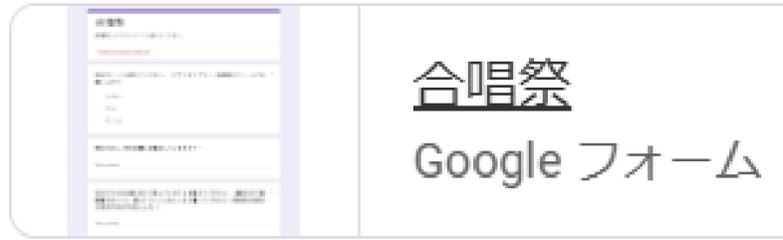


## 合唱祭に向けて・中3



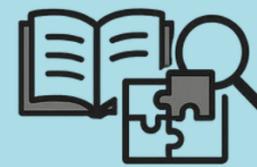
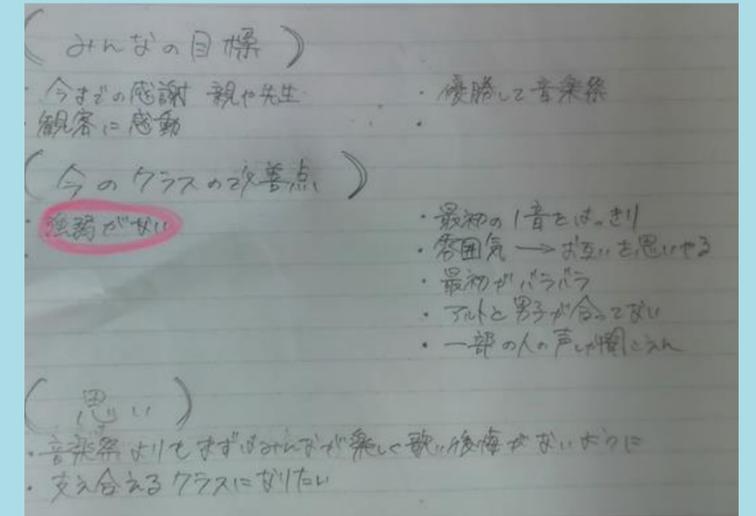
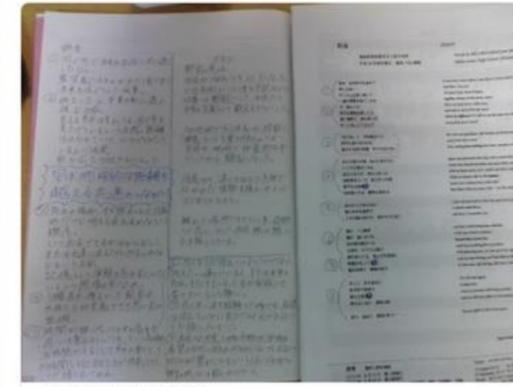
課題の設定

合唱祭のアンケート教えてください。



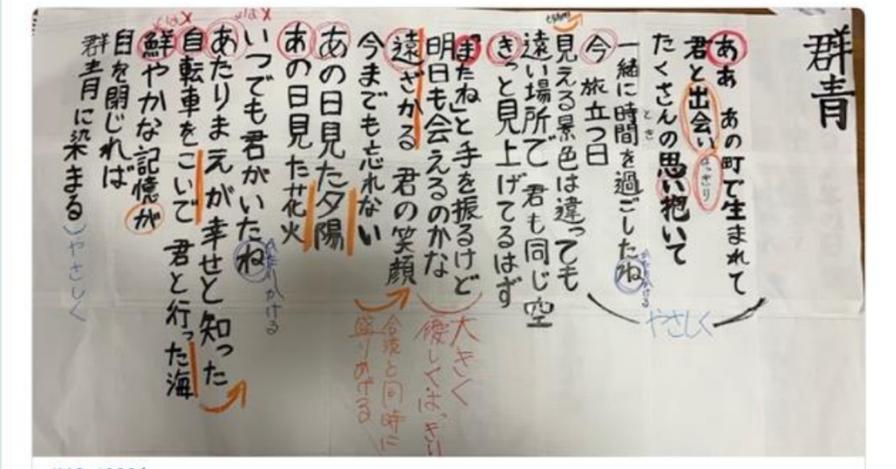
情報の収集

歌詞の意味やその時の状況などを調べて書き出してみました。しっかりと読んでその時の状況などを理解して、同じ状況ではないと思いますが、これからいきましょう！画質が悪くて見えにくいけど頑張って拡大して読んでね



整理・分析

歌詞のどこを気をつけて歌うかのポイントを書いた紙と峠さんが上げてくれた歌詞の意味、曲に込められた思い、その時の状況などが書かれた紙も峠さんが上げてくださっているものより少し画質が良いものを上げておきます。(書いてあることは一緒です！)  
歌う技術より歌詞に込められた思いをクラスみんなで統一して行きましょう！



まとめ・表現



# 02 事例②教員の姿



## 先生たちが探究する！



「昨年度通り」「去年と同じ計画で」  
「総合担当が考えればいい」

→ **教員全員の意識改革**

「どうしたらいいかわからない」からがスタート





## 各教科でも探究

探究の要素を各教科でも取り入れていく



- ① 授業では、「何を学ぶのか」や「どんなことを考える授業なのか」を意識して取り組んでいますか。
- ② 課題を解決するために、必要だと思ふ情報を考えながら集めていますか。
- ③ 集めた情報を比べたりまとめたりしながら、最後まであきらめずにいろいろな方法で課題の解決に取り組んでいますか。
- ④ 授業での学びや考え方をふり返り、次の学習でどうしたらよいかを考えて行動しようとしていますか。

# 02 事例②教員の姿



## 各教科でも探究



探究の要素を各教科でも取り入れていく



課題の設定

国語



「さんちき」を読むための  
10の質問



情報の収集

保健

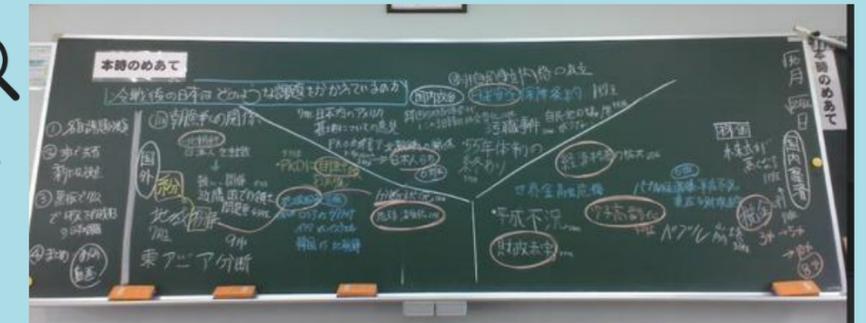


犯罪から身を守るために  
できることを考える

社会



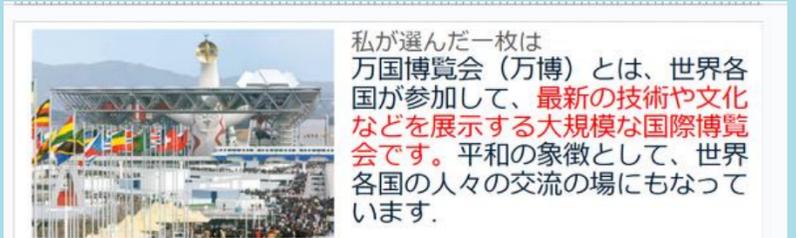
整理・分析



冷戦後の日本の課題について  
整理・分析



まとめ・表現



私が選んだ一枚は  
万国博覧会（万博）とは、世界各国  
が参加して、最新の技術や文化  
などを展示する大規模な国際博覧  
会です。平和の象徴として、世界  
各国の人々の交流の場にもなって  
います。

万国博覧会→  
世界に日本の技術や文化を発表する→  
終戦から日本の経済、文化が発展した事がわかる→  
また、たくさんの国に発表できるようになった→  
大幅に経済が発展  
①高度経済成長が一番分かる画像だと思う

高度経済成長がわかる  
1枚を選ぶ



## お互いの授業を参観し合う雰囲気づくり

### 一人一研究授業

管理職や一部教員のみが参観、「こなす」だけの研究



## 年間3回の代表者授業の実施

※全教職員で参観、全教職員で協議



管理職の授業参観・巡回

職朝プリントで  
参観可能な授業の紹介



## ICTの活用

組曲スケジュール

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能

50% Calibri

		回数	日付	時間	全体	途中
4	第1次 課題の設定	1	5月21日(月)	5校時	組曲、パートごとの魅力と課題を挙げて、各グループで共有。その結果、「何を表現しているのか」「これからも続けることができるのか」といった疑問が生まれた。	組曲の魅力は「それぞれのパートの長が重なって力がある」と言及がもたれている。課題は「人任せの部分がある」こと。繰り返しの魅力は「繰り返しているときに音楽のリズムが壊れて華やかになる」ところです。課題は「どの角度から見ても全員がきれいにみえるようにすること」。
5	情報の収集	2	6月4日(水)	6校時	疑問に対してどうやって調べていくか、なぜ調べたのかを共有。調べた結果を共有している。	西条中学校の組曲を調べました。西条中学校は音を大切にしている。調べた結果、調べたパートが前年より多かった。次の時間は西条中学校へ訪問しているか調べています。



## 学校運営協議会



## 職員室で頻繁に行われる協議





総合（組曲）に対する意識が大きく変わった半年。  
自分自身の探究活動にもつながった。  
課題が見えてさえいれば、子どもたちは一生懸命取り組もうとする姿をたくさん見せてくれた。  
探究の本質はまだよく分からないが、様々なことを吸収しながら頑張りたい。





当初は「探究的な学び」を生徒が主体的に進めるものと考えていたが、実際には多くの生徒が自らサイクルを回せていない現状が明らかになった。その結果、教員が理想化した生徒像に基づき、指導者主導で動かしていたことに気づかされた。しかし探究活動を重ねる中で、生徒の予想外の発想や成長を目の当たりにし、授業スタイルを見直す必要性を感じるようになった。生徒が学びを自分事として捉えることが、学ぶ力やこれからの時代を生きていく力へとつながることを実感している。

03

おわりに

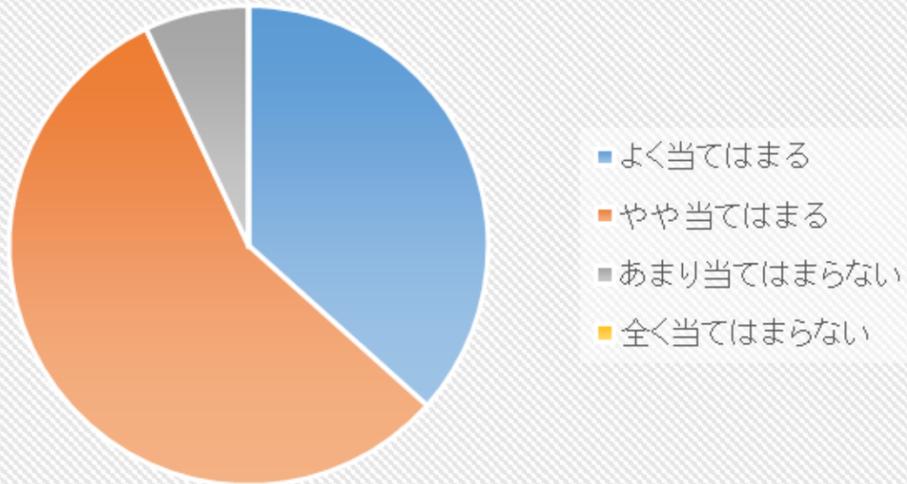
# 03 おわりに 成果

## 1年

肯定的回答82.1%  
(年度当初)

↓ +10.9

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。



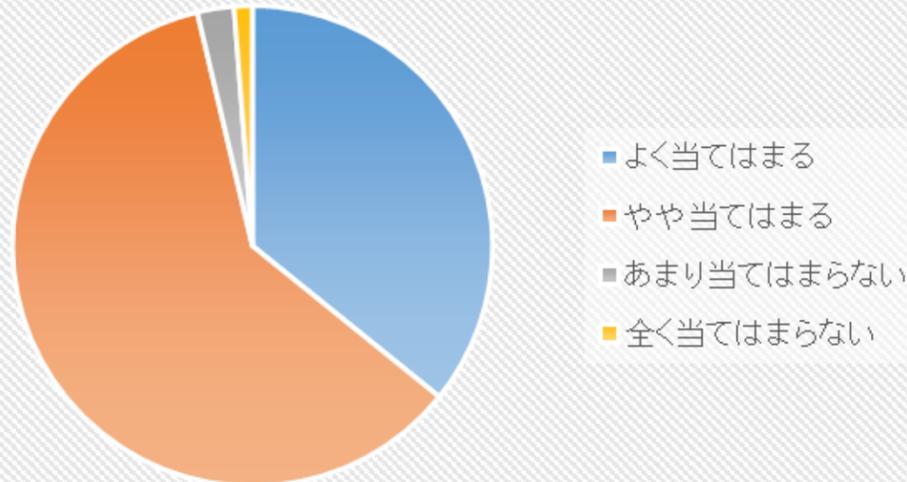
肯定的回答93%(10月)

## 2年

肯定的回答91%  
(年度当初)

↓ +5.3

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。



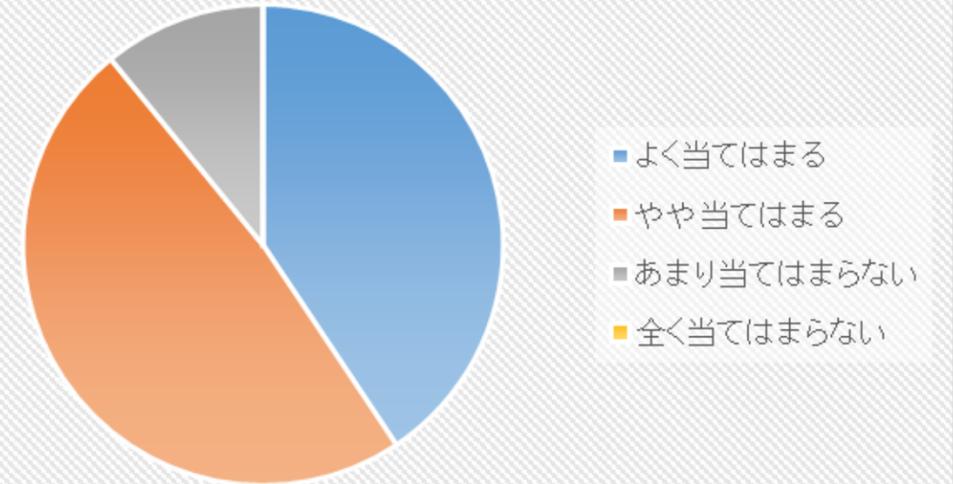
肯定的回答96.3%(10月)

## 3年

肯定的回答75.8%  
(全国学力時)

↓ +13.3

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。



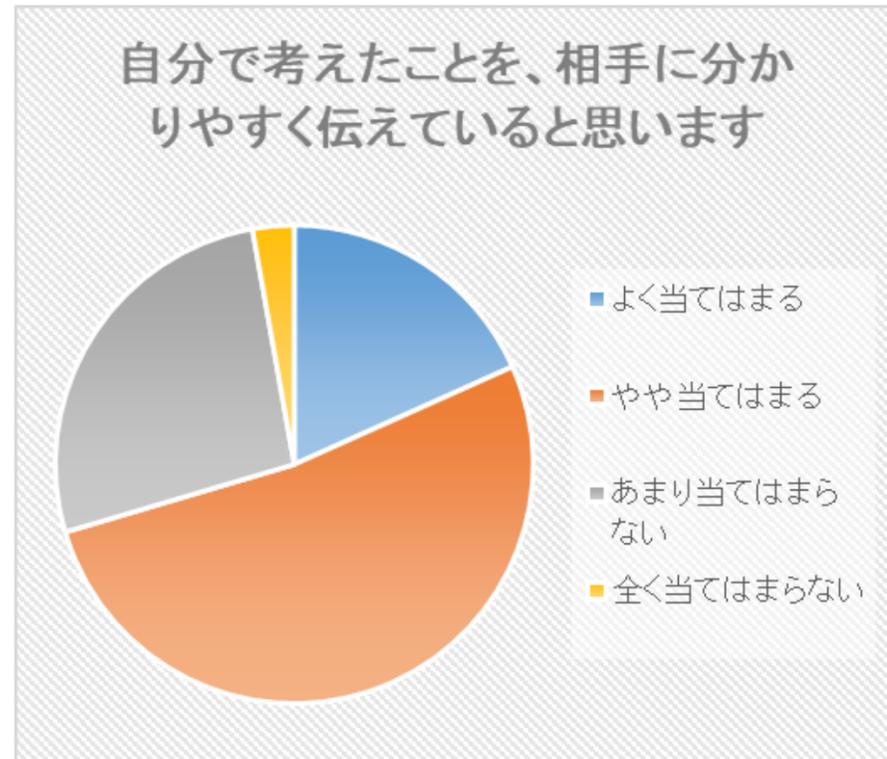
肯定的回答89.1%(10月)

# 03 おわりに 成果

## 1年

肯定的回答70.2%  
(年度当初)

↓ +0.2

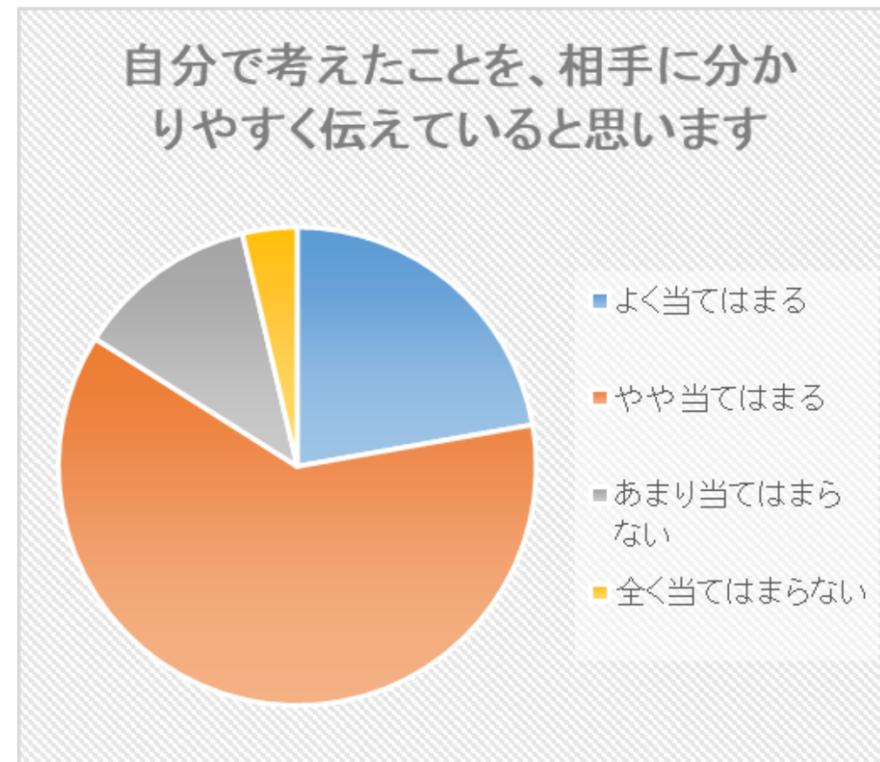


肯定的回答70.4%(10月)

## 2年

肯定的回答83.3%  
(年度当初)

↓ +0.7

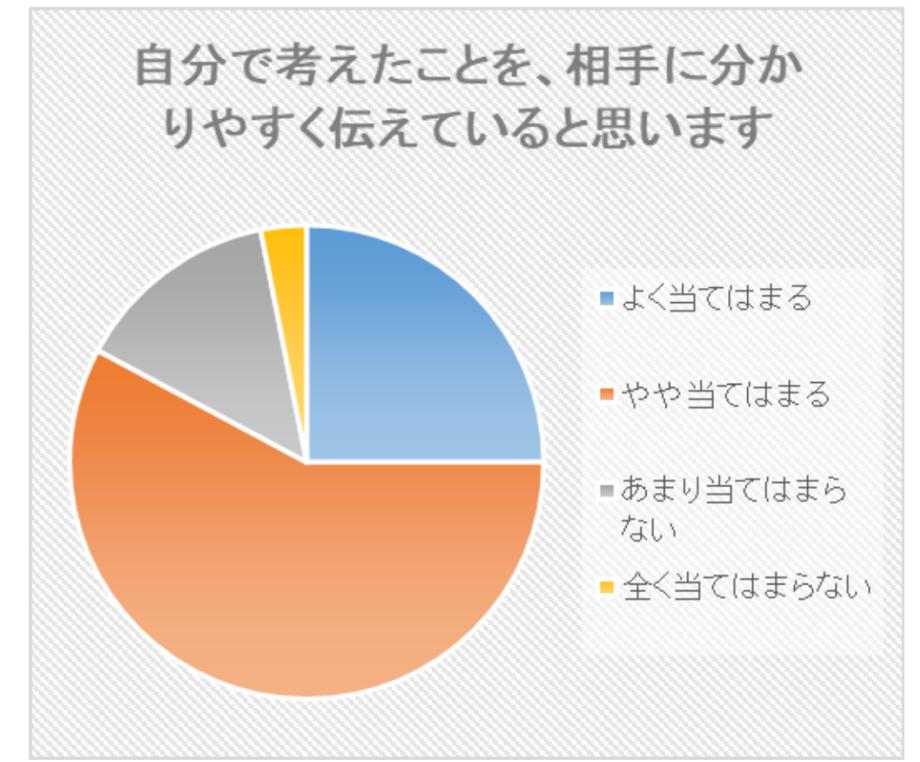


肯定的回答84%(10月)

## 3年

肯定的回答79.4%  
(年度当初)

↓ +3.4



肯定的回答82.8%(10月)

# 03 まとめ

1. 探究は1人でやるものではない  
→ 学校全体で取り組むことが学校を変える
2. 先生たちが探究しないと子どもは探究しない
3. 総合を探究にすることで、  
各教科の授業改善につながる(教科に生きる)
4. 「総合的な学習の時間」「授業」に対する意識改革  
→ 生徒に力をつけさせるための授業になっているのか
5. 日常の中で探究の芽が出てくる